

総接種回数の内訳及び接種率

(8月30日公表時点)

全年代	計	1回接種者	2回接種完了者
総接種回数	127,420,574	70,699,480	56,721,094
人口あたり接種率	—	55.6%	44.6%
高齢者（65歳以上）	計	1回接種者	2回接種完了者
総接種回数	62,696,863	31,747,899	30,948,964
人口あたり接種率	—	89.5%	87.2%
職域接種	計	1回接種者	2回接種完了者
総接種回数	12,029,002	7,013,578	5,015,424

注：総接種回数は、令和3年8月29日までのもの。

職域接種は、企業や大学等において、職域（学校等を含む）単位でワクチンの接種を行うものであり、令和3年8月22日までのもの。

9月以降の市区町村接種の配分の基本的な考え方（イメージ）

<考え方>

9月から10月上旬までの3回（第13～第15クール）※の配分において、12歳以上人口の8割の方に2回接種するに足りる数量を配分する。

※①8月30日週・9月6日週 配送分、②9月13日週・9月20日週 配送分、③9月27日週・10月4日週 配送分の3回

<具体的な配分方法>

- 国は、12歳以上人口の8割に2回接種するために必要な量を、都道府県単位で配分する。
- 3回の配分は、必要数の3分の1ずつを配分する。
なお、第14・15クールでは、基本枠とは別に合計300万回程度の調整枠を設け、接種率が8割を超える自治体など地域の実情に応じて都道府県が調整できるよう配分する。
- 市区町村への配分は、国の考え方を踏まえ、都道府県の裁量で行う。
その際、都道府県においては、接種の進捗や未接種ワクチンの状況等をできるかぎり把握し、未接種ワクチンの活用も含めた市町村を超えた調整を行う。

（今後ファイザー配分数）＝

（接種終了に必要な数）－（既ファイザー配分数）－（既モデルナ配分数）

※国の配分においては、既モデルナ配分数（自衛隊大規模・自治体大規模・職域）は、8月1日までに会場へ納入された量を、8月1日までにVRSに入力された被接種者の住所を用いて都道府県別に按分

ファイザー社ワクチン第13クルの分配量（9,244箱分）について

ファイザー社ワクチン第13クル（9,244箱）の各都道府県の割り当ての考え方

- (1) 12歳以上の人口の8割に2回接種するために必要なワクチンの接種回数を都道府県別に計算
- (2) 医療従事者用のワクチンを含め、これまで配分したファイザー社ワクチンの接種回数を都道府県別に計算（都道府県が設置する大規模接種会場用に配分したものは8月1日までに配分したもののみ）
- (3) これまで配分した武田/モデルナ社ワクチンの接種回数について、①自衛隊大規模接種会場、②自治体大規模接種会場、③職域接種会場ごとにVRSに登録されたデータを踏まえ、都道府県別に按分
- (4) (2)と(3)の和を(1)から減じて配分が必要な接種回数を計算し、その3分の1に相当するワクチン量を計算した上で、都道府県が設置する大規模接種会場に必要なワクチン量を加えて、第13クルの都道府県別分配量とする

※ 市町村へのワクチン分配は、都道府県が接種状況等を踏まえて決定する

No	都道府県	第13クルの分配量 (箱数)
0	全国	9,244
1	北海道	434
2	青森県	92
3	岩手県	97
4	宮城県	174
5	秋田県	74
6	山形県	39
7	福島県	122
8	茨城県	236
9	栃木県	212
10	群馬県	79
11	埼玉県	857
12	千葉県	595
13	東京都	716
14	神奈川県	824
15	新潟県	138
16	富山県	94
17	石川県	66
18	福井県	40
19	山梨県	67
20	長野県	148
21	岐阜県	127
22	静岡県	361
23	愛知県	545

No	都道府県	第13クルの分配量 (箱数)
24	三重県	134
25	滋賀県	111
26	京都府	179
27	大阪府	642
28	兵庫県	412
29	奈良県	106
30	和歌山県	30
31	鳥取県	24
32	島根県	44
33	岡山県	94
34	広島県	195
35	山口県	10
36	徳島県	21
37	香川県	73
38	愛媛県	100
39	高知県	30
40	福岡県	367
41	佐賀県	28
42	長崎県	49
43	熊本県	54
44	大分県	84
45	宮崎県	87
46	鹿児島県	91
47	沖縄県	142

ファイザー社ワクチン第14・15クールの基本枠の分配量について

ファイザー社ワクチン第14・15クールの各都道府県の割当ての考え方は、基本的に第13クールと同様

- (1) 12歳以上の人口の8割に2回接種するために必要なワクチンの接種回数を都道府県別に計算
- (2) 医療従事者用のワクチンを含め、これまで配分したファイザー社ワクチンの接種回数を都道府県別に計算（都道府県が設置する大規模接種会場用に配分したものは8月1日までに配分したもののみ）
- (3) これまで配分した武田/モデルナ社ワクチンの接種回数について、①自衛隊大規模接種会場、②自治体大規模接種会場、③職域接種会場ごとにVRSに登録されたデータを踏まえ、都道府県別に按分
- (4) (2)と(3)の和を(1)から減じて配分が必要な接種回数を計算し、その3分の1に相当するワクチン量を計算した上で、都道府県が設置する大規模接種会場に必要なワクチン量を加えて、都道府県別分配量とする

※ 基本枠とは別に、第14・15クールで併せて300万回程度の調整枠を設け、接種率が8割を超える自治体など地域の実情に応じて都道府県が調整できるように配分する予定

No	都道府県	第14クールの基本枠 (箱数)	第15クールの基本枠 (箱数)	No	都道府県	第14クールの基本枠 (箱数)	第15クールの基本枠 (箱数)
0	全国	9,243	9,173	24	三重県	134	134
1	北海道	434	434	25	滋賀県	111	111
2	青森県	92	92	26	京都府	179	179
3	岩手県	97	97	27	大阪府	642	642
4	宮城県	174	174	28	兵庫県	412	412
5	秋田県	74	74	29	奈良県	106	75
6	山形県	39	35	30	和歌山県	30	30
7	福島県	122	122	31	鳥取県	24	24
8	茨城県	236	236	32	島根県	44	44
9	栃木県	212	212	33	岡山県	94	94
10	群馬県	79	79	34	広島県	195	195
11	埼玉県	857	857	35	山口県	10	10
12	千葉県	595	595	36	徳島県	21	21
13	東京都	708	690	37	香川県	73	73
14	神奈川県	824	824	38	愛媛県	100	100
15	新潟県	138	131	39	高知県	30	30
16	富山県	94	94	40	福岡県	367	367
17	石川県	66	66	41	佐賀県	28	28
18	福井県	40	40	42	長崎県	49	49
19	山梨県	78	67	43	熊本県	54	54
20	長野県	148	148	44	大分県	84	84
21	岐阜県	123	123	45	宮崎県	87	88
22	静岡県	361	361	46	鹿児島県	91	91
23	愛知県	545	545	47	沖縄県	142	142

ファイザー社ワクチン第14-2クルールの分配量（1,557箱分）について

ファイザー社ワクチン第14-2クルール（1,557箱）の各都道府県の割り当ての考え方

- ・ 高齢者の接種率が8割を超える部分の接種回数等に応じた配分を行うことにより、都道府県が、高齢者以外の一般接種を円滑に実施するため必要な調整を行えるようにする観点から、
 - （1）各都道府県の高齢者の1回目接種率が8割を超える部分の接種回数に応じて都道府県ごとに按分。
 - （2）第13クルールの割当量が第12クルールよりも2割以上減少した都道府県に対して、2割を超えて減少した量の半分に相当する量を配分。ただし、（2）を割り当てなくとも、10/4週の配送分までのファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの分配実績及び配送計画量（職域分の配送計画量は除く。）の合計が12歳以上人口が2回接種できる量の9割以上となる都道府県を除く。
- ・ 上記（1）と（2）を合算した量に相当する箱数を、都道府県別に分配。

No	都道府県	第14-2クルールの分配量 (箱数)	No	都道府県	第14-2クルールの分配量 (箱数)
0	全国	1,557	24	三重県	21
1	北海道	57	25	滋賀県	18
2	青森県	17	26	京都府	23
3	岩手県	17	27	大阪府	58
4	宮城県	30	28	兵庫県	57
5	秋田県	15	29	奈良県	18
6	山形県	35	30	和歌山県	25
7	福島県	32	31	鳥取県	14
8	茨城県	34	32	島根県	9
9	栃木県	24	33	岡山県	35
10	群馬県	25	34	広島県	31
11	埼玉県	74	35	山口県	47
12	千葉県	64	36	徳島県	23
13	東京都	82	37	香川県	10
14	神奈川県	78	38	愛媛県	16
15	新潟県	46	39	高知県	12
16	富山県	15	40	福岡県	54
17	石川県	19	41	佐賀県	32
18	福井県	22	42	長崎県	31
19	山梨県	14	43	熊本県	64
20	長野県	29	44	大分県	16
21	岐阜県	39	45	宮崎県	13
22	静岡県	41	46	鹿児島県	33
23	愛知県	80	47	沖縄県	8

ワクチン接種に関する情報発信の考え方

考え方

○接種意向が相対的に低い若者向けには、著名人のほか、若者に影響力のあるYouTuber等を起用して、**多層的に若年層にアプローチすることが重要。**

TV等のマスメディアだけでなく、**YouTubeやTwitter等のSNSを活用。**

○幅広い世代や多様なニーズに対応して、正確な情報発信の充実を図る。

主な取組

若者向けSNS活用企画

- ・河野大臣とはじめしゃちょー（YouTuber）とのコラボ動画
- ・はるあん（YouTuber）と池田早希先生（小児科医）との対談動画
- ・河野大臣とYOSHIKIとの対談
- ・河野大臣ときゃりーぱみゅぱみゅとの対談

その他若者向け広報

- ・ゴルゴ13を起用したPR

テレビCM・オンライン動画

- ・尾身先生出演CM
（ワクチン接種で安心篇）
- ・内田篤人出演若者向けCM
（ワクチン接種で守る篇）
- ・若者との対談動画の公開
「尾身先生と語ろう」

河野大臣による職域接種視察

（吉本興業、KADOKAWAグループ）

その他

- ・プラットフォームによるデマ対策イベント
- ・科学的に正しい情報発信の充実、誤情報への注意喚起、多言語化

1. 概要

- ワクチン接種記録システム（VRS）では、接種率の分母として総務省が更改している住民基本台帳に基づく人口の市区町村別年齢階級別人口のデータを用いている。**住民基本台帳に基づく人口データが本年8月上旬に更新（注）されたことにあわせて、VRSで用いる人口データも9月1日公表分から更新**する。

（注）毎年1回更新。今回は令和2年1月1日時点→令和3年1月1日時点のデータに更新

2. 更新に伴う影響

- 日本の総人口は約50万人（473,391人）の減少となることから、全体の接種率には増加の影響を与える。
- 都道府県別、市区町村別の全年代の接種率については以下のとおり。
 - ・ 人口が減少→接種率が増加（41道府県、1,509市区町村）
 - ・ 人口が増加→接種率が減少（6都県、228市区町村）
 - ※接種率減少の6都県は埼玉、千葉、東京、神奈川、高知、沖縄
 - ※市区町村については、高知県の中芸広域連合に属する町村を除く。

（参考）高齢者の接種率について

VRSの年代別の集計は、自治体がVRSに登録する生年月日を用いて集計日時点の年齢に基づき行われている。このため、例えば1956年7月1日生まれの方の接種記録については、2021年7月2日時点の集計では高齢者に含まれるが、同年6月30日時点の集計では高齢者に含まれない。

このため、集計時点が後になるほど65歳の誕生日を迎える方が多くなり、高齢者の接種率については、分子が増える一方で、分母となる人口データは変わらないことから、理論上は実態より高くなる。

人口データの更新に伴い、分母となる人口が実態に近くなることから、高齢者の接種率が減少となる自治体が多くなる。
（高齢者の接種率が増加：0都道府県、496市区町村 減少：47都道府県、1241市区町村）

人口データの更新に伴う影響（詳細）

【背景】：総務省が公開している住基人口データが8月上旬に更新され、令和3年度のデータになった。現在は令和2年度を使用。

人口マスタ上の日本の総人口

R2総人口：127,138,033
 R3総人口：126,664,642
 差し引き： -473,391

人口の変動

	市区町村		都道府県		影響
	全年代人口	高齢者人口	全年代人口	高齢者人口	
減少	1509	496	41	0	接種率の増加
増加	228	1241	6	47	接種率の減少

※高知県の中芸広域連合に属する町村は除外しているため、総市区町村数は1737

全年代の接種率変動

	市区町村			都道府県		
	自治体数	増減幅最大（R2→R3）		自治体数	増減幅最大（R2→R3）	
増加	1509	北海道占冠村	累計：88.65%→108.75% (+20.09) 1回目：59.21%→72.62% (+13.42) 2回目：29.45%→36.12% (+6.67)	41	秋田県	累計：83.71%→84.90% (+1.19) 1回目：46.87%→47.54% (+0.67) 2回目：36.84%→37.36% (+0.52)
減少	228	鹿児島県三島村	累計：156.83%→149.48% (-7.35) 1回目：78.42%→74.74% (-3.68) 2回目：78.42%→74.74% (-3.68)	6	高知県	累計：87.71%→87.37% (-0.33) 1回目：49.15%→48.96% (-0.19) 2回目：38.56%→38.41% (-0.15)

高齢者の接種率変動

	市区町村			都道府県		
	自治体数	増減幅最大（R2→R3）		自治体数	増減幅最大（R2→R3）	
増加	496	東京都御蔵島村	累計：178.95%→188.89% (+9.94) 1回目：89.47%→94.44% (+4.97) 2回目：89.47%→94.44% (+4.97)	0	（なし）	
減少	1241	東京都青ヶ島村	累計： 210.34% →184.85% (-25.50) 1回目： 110.34% →96.97% (-13.38) 2回目：100.00%→87.88% (-12.12)	47	沖縄県	累計：165.03%→160.82% (-4.21) 1回目：85.38%→83.20% (-2.18) 2回目：79.65%→77.62% (-2.03)

※累計の接種率は「（1回目接種回数 + 2回目接種回数） / 人口」であるため0%～200%の間の値を取り得る。8